クイックスタートガイド

'12.7

docomo NEXT series

詳しい操作説明は、L-06Dに搭載されている「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

はじめに

L-06Dをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。また、本端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）
基本的な機能の操作について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリケーション）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面で「アプリ」▶「取扱説明書」
※「取扱説明書」はLG SmartWorldから再ダウンロードできます。ダウンロードには、ログインが必要です。
ホーム画面で「アプリ」▶「SmartWorld」▶「取扱説明書」を検索 ▶「取扱説明書」アプリを選択 ▶「ダウンロード」

■「取扱説明書」（PDFファイル）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

L-06D本体
（保証書含む）

クイックスタートガイド（本書）

タッチペンL01

イヤホンマイク L01
（保証書含む）

ドコモminiUIMカード挿抜ツール
（試供品）

本書のご使用にあたって

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-06D」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている をタップする • ホーム画面のアイコンは、以下のように表記しております。 :「電話」 :「電話帳」 :「ノートブック」 :「spモードメール」 :「アプリ」
ホーム画面で ▶「システム設定」	画面の下にある を タップして、表示されたオプションメニューの「システム設定」をタップする

表記	操作内容
「Wi-Fi」▶「ネットワークを追加」	画面に表示されている「Wi-Fi」をタップして、続けて「ネットワークを追加」をタップする
[文字] を1秒以上タッチする	画面に表示されている [文字] を長めに（1～2秒間）触れたままにする

お知らせ

- 本書の操作説明は、ホーム画面の内容が初期設定の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目次

電話／メール／ウェブブラウザ …… 79

システム設定…… 91

付録…… 95

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期やソフトウェア更新を行うための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定中でも、エリアメール、着信音や各種通知音を除く音（撮影音、動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「ステータス」をタップしてください。
- ご利用の本端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「端末情報」をタップしてください。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」（P109）をご参照ください。

- 本端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 他人に使用されないように、画面ロックまたはパスワードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットI以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- 本端末は64Kデータ通信には対応しておりません。
- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは本端末の取扱説明書をご参照ください。
また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。

- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強く推奨します。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をお勧めします。
- 本端末とHDMI変換ケーブル L01（別売）および市販のHDMIケーブルを接続すると、本端末に保存された静止画や動画をテレビに表示できます。また、テレビでモバキャスの視聴も行えます。ただし、テレビでモバキャスを視聴するとき、ノイズなどの影響により受信感度（画面映り）が悪くなる場合があります。
  ※ ワンセグは著作権保護のため、HDMI接続による動画出力には対応していません。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

- 防水性能については下記をご参照ください。→ P35

指示

本端末に使用するアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

microUSB接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

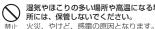
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーションやワンセグ視聴などを長時間行うと、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

■ **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-Polymer	リチウムポリマー電池

⚠ 危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

スピーカーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレート（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、強化ガラスを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意

禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。
不要となった端末はドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

- 各箇所の材質について → 材質一覧（P24）

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なＡＣアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

- ACアダプタ：AC100V
- DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
- 海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

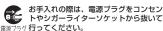
電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ	強化ガラス	背面印刷
	フロントケース	PC (SC1004A-KPA1)	NCVM/LTN-SH228(VM)/G90%
	リアケース	PC+GF10% (GP2102-KA02)	光沢あり NS2000/G90% LBK-JB120(UV)

使用箇所		材質	表面処理
電源キー		STS	PVD
音量キー		PC＋TPU (SC1004A-KPA1)	UVG10 LTN-SH304(BS) 光沢なし MS#100 レジンKPA1
UIMカード取り付け部	カバー	PC (SC1004A-KPA1)	光沢あり NS2000 LBK-JB120(UV)
	カバー周囲	PC+GF30% (SC2302-KA02)	光沢あり NS2000/G90% LBK-JB120(UV)
ワンセグ／モバキャスアンテナ		PC	NCVM
microUSB接続端子カバー		STS	メッキ処理
ワンタッチメモボタン		STS	メッキ処理

使用箇所	材質	表面処理
イヤホンマイク端子装飾部	STS	メッキ処理
カメラ部	Acryl Sheet	UVスピン印刷
カメラ装飾部	AL	Silver (Anodizing)
フラッシュ部	PMMA	−
スピーカーグリル	STS	−
レシーバーグリル	STS	−
ネジ	MSWR	Niメッキ Spin hair line

試供品（ドコモminiUIMカード挿抜ツール）の取り扱いについて

⚠ 注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **L-06Dは防水性能を有しておりますが、本端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。**
アダプタ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～40℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **microUSB接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はドコモminiUIMカードスロットカバーとmicroUSB接続端子のカバーを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■ **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について

本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ **2.4GHz機器使用上の注意事項**

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ **5GHz帯使用時の注意**

電波法により、5GHz帯は室内使用に限ります。

FeliCaリーダー／ライターについて

■ **本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**

■ **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

試供品（ドコモminiUIMカード挿抜ツール）についてのお願い

■ **ドコモminiUIMカード挿抜ツールに無理な力がかからないように使用してください。**
故障、破損の原因となります。

注意

■ **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の電子銘版に表示されております。電子銘板は、本端末で以下の操作を行うことでご確認いただけます。
ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「認証」
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になると罰せられることがあります。

■ 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水性能

L-06Dは、ドコモminiUIMカードスロットカバーをしっかり取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにL-06Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

L-06Dは、雨の中やキッチン、プールサイドなどの水際でも使用できますが、水の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。

- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときは、ドコモminiUIMカードスロットカバーを開閉しないでください。
- 洗面器などに張った真水・常温の水道水に浸けて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗ったりすることができます。
  - ドコモminiUIMカードスロットカバーを取り付けた状態で洗ってください。
  - 受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、イヤホンマイク端子に蛇口の水を直接当てないでください。
  - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - 洗い流したあとは、表面を乾いた布でよく拭いて、水抜きを行ってください。（P40）
- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で本端末を使用しないでください。

ご使用にあたって

- ご使用前に、ドコモminiUIMカードスロットカバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けたりしないでください。

<例>

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

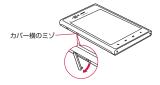
プール

温泉

砂／泥

ドコモminiUIMカードスロットカバーの開けかた／閉じかた

開けかた

1 カバー横のミゾに指をかけて、上に持ち上げながら、矢印の方向に開ける

閉じかた

1 カバーのツメをドコモminiUIMカードスロット横のミゾに差し込み（❶）、カバー全体をしっかりと押して閉じる（❷）

- 本端末とすきまがないことを確認してください。

お知らせ

- カバーを閉じる際は、ドコモminiUIMカードが確実に取り付けられていることを確認してください。ドコモmini UIMカードの挿入が不十分であると、カバーを閉じる際に、本端末とカバーの間に隙間が生じて防水性能を損なう場合があります。

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

注意事項

■ 本端末について

- 落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。ひび割れや傷の発生などにより、防水性能の劣化を招く恐れがあります。
- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。microUSB接続端子やイヤホンマイク端子がショートする恐れがあります。また、寒冷地では、本端末が凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から湿度の多い場所へは、本端末が常温になってから持ち込んでください。
- 規定（→P35）以上の強い水流を直接当てないでください。L-06DはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。

- 洗濯機などで洗わないでください。
- 本端末は水に浮きません。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  - 受話口（レシーバー）やマイク､スピーカー､イヤホンマイク端子の穴などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
  - microUSB接続端子、イヤホンマイク端子の穴などに砂などが入り、防水性能が損なわれることがあります。
  - 水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
  - ドコモminiUIMカードスロットカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、イヤホンマイク端子の穴を尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- microUSB接続端子、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。ショートする恐れがあります。

■ ドコモminiUIMカードスロットカバーについて

- カバーのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- カバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。
- カバーの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- カバーが破損した場合、またはカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■ その他

- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- 実際の使用にあたって、すべての状況の動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

本端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

- 水滴が付着していると、スピーカーなどの音量が小さくなり、音質が変化する場合があります。

1 本端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る

2 本端末をしっかりと持ち、各面を20回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る

- 本端末に水滴が付着していないことを目視で確認してください。

3 乾いたきれいな布に本端末を軽く押し当て、受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、イヤホンマイク端子、microUSB接続端子、キーなどの隙間に入った水分を拭き取る

- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 十分に水分を取り除いてから使用する

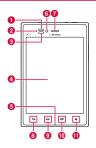
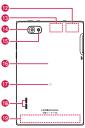
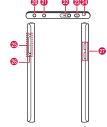
- 上記の手順を行っても、本端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときには

付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

1. 赤外線ポート
2. スピーカーフォン用マイク
3. 近接センサー※1／照度センサー
4. ディスプレイ（タッチスクリーン）
5. 送話口（マイク）
6. インカメラ
7. 受話口（レシーバー）
8. 戻るキー
9. ホームキー
10. 履歴キー
11. メニューキー

⑫ GPSアンテナ部※2
⑬ Bluetooth ／ Wi-Fiアンテナ部※2
⑭ メインカメラ
⑮ フラッシュ
⑯ リアケース※3
⑰ マーク
⑱ スピーカー

⑲ Xi ／ FOMAアンテナ部※2
⑳ イヤホンマイク端子
㉑ ワンタッチメモボタン※4
㉒ microUSB接続端子
㉓ 電源キー／画面ロックキー
㉔ ワンセグ／モバキャスアンテナ

㉕ ドコモminiUIMカードスロット
㉖ IMEIプレート
㉗ 音量キー

※1 タッチスクリーンのONとOFFを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作しないようにします。
※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
※3 本端末の電池は内蔵されており、リアケースも取り外しできない構造になっておりますので、お客様ご自身で絶対に開閉しないでください。
※4 メモやノートブックアプリケーションを起動せずに、ワンタッチメモボタンを押すだけで、簡単にメモができます。

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

本端末前面には、キーが4つ配置されています。それぞれのキーの役割は次のとおりです。

	戻るキー タップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。
	ホームキー タップすると、どのアプリケーションを使用中でも、どの画面が表示されていてもホーム画面が表示されます。
	履歴キー 最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます。
	メニューキー タップすると、現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューが表示されます。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。

- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能は利用することができません。ドコモminiUIMカードを挿入または取り出す前には、必ず本端末の電源を切り、アダプタも取り外してください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

ドコモminiUIMカードを取り付ける

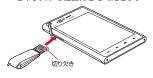
付属のドコモminiUIMカード挿抜ツール（試供品）を使って、ドコモminiUIMカードを取り付ける／取り外す方法を説明します。

1 ドコモminiUIMカードスロットカバーを開ける（P37）

2 ドコモminiUIMカード挿抜ツールの先端部分にドコモminiUIMカードの金色のIC面を上にして挟む

- ドコモminiUIMカード挿抜ツールの奥までドコモminiUIMカードを押し込まないでください。ドコモminiUIMカードが取れなくなる可能性があります。

3 ドコモminiUIMカード挿抜ツールにドコモminiUIMカードを挟んだまま、ドコモminiUIMカードスロットに差し込む

- ドコモminiUIMカードスロットカバーをイラストの位置にしてください。

4 ドコモminiUIMカード挿抜ツールの先端でドコモminiUIMカードを軽く押し込む

- 正しい向きに差し込むと、まずドコモminiUIMカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に押し込んでください。

ドコモminiUIMカードを取り外す

1 ドコモminiUIMカードスロットカバーを開ける（P37）

2 ドコモminiUIMカード挿抜ツールの先端でドコモminiUIMカードを軽く押し込む

- ドコモminiUIMカードが少し飛び出します。

3 ドコモminiUIMカード挿抜ツールの先端でドコモminiUIMカードを挟んで、図の向きにまっすぐ引き出す

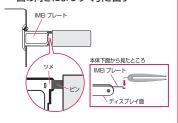
- ドコモminiUIMカードスロットカバーをイラストの位置にしてください。

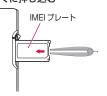
IMEI番号

本端末が破損し、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡いただく際、IMEI番号をお伝えする必要があります。お客様の端末のIMEI番号は、以下の方法で確認することができます。

1 ドコモminiUIMカードスロットカバーを開ける（P37）

- カバーと本体接続部分の奥にIMEIプレートのツメが見えます。
- ドコモminiUIMカードスロットカバーをイラストの位置にしてください。

2 IMEIプレートのツメにドコモminiUIMカード挿抜ツールのピンを引っ掛けて、図の向きにまっすぐ引き出す

3 「IMEI：XXXXXX-XX-XXXXXX-X」番号を確認する

4 確認が終わったら、ドコモminiUIMカード挿抜ツールを図の向きにあてて、IMEIプレートを矢印の方向にまっすぐに押し込む

5 本端末にあたったら、ドコモmini UIMカード挿抜ツールの先端でIMEIプレートのツメをスロットの奥まで軽く押し込む

お知らせ

- IMEIプレートを引き出したり戻したりする際、IMEIプレートのツメなどで指や爪を傷つけないようにご注意ください。

充電

ACアダプタで充電する

オプション品のＡＣアダプタ 03（別売）※を使って充電する方法を説明します。

※ ACアダプタ 03は、ACアダプタ本体とmicroUSB接続ケーブルで構成されています。

1 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをACアダプタ本体のUSB接続端子に差し込む

2 本端末のmicroUSB接続端子カバーをスライドさせて開ける

3 microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSB接続ケーブルは、USBマークがある面を上にして水平に差し込んでください。

4 ACアダプタ本体のプラグを電源コンセントに差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが ▯ のように表示されるか、▯ ▶ ▯ ▶ ▯ ▶ ▯ ▶ ▯ ▶ ▯ ▶ ▯ のようにアニメーション表示されます。

- 内蔵電池がフル充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンが ▮ になります。
- 充電が完了すると充電完了音が鳴り、100 と充電完了のメッセージが表示されます。

5 充電が終わったら、microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末から取り外す

6 ACアダプタ本体のUSB接続端子からmicroUSB接続ケーブルのUSBコネクタを取り外す

7 ACアダプタ本体のプラグを電源コンセントから取り外す

パソコンで充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル01（別売）で接続すると、本端末をパソコンから充電できます。

1 本端末のmicroUSB接続端子カバーをスライドさせて開ける

2 microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSB接続ケーブルは、USBマークがある面を上にして水平に差し込んでください。

3 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

4 「充電のみ」を選択する

5 充電が終わったら、microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末から取り外す

6 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートから取り外す

お知らせ

- パソコンの状態により、充電に時間がかかる場合や充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを1秒以上押し続ける

- しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押し続ける

2 「電源を切る」

3 「OK」

画面ロックを解除する

1 🔒を円の外にスワイプしてロックを解除する

- 「画面のロック」を設定している場合は、設定した解除方法を行います。

お知らせ

- 画面ロックを「スワイプ」に設定している場合は、画面ロックを解除していない状態で、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開くことができます。

基本操作

本端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

タッチスクリーン

利用上の注意

タッチスクリーンは指または付属のタッチペンで軽く触れるように設計されています。指またはタッチペンで強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。

以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- docomo指定のアダプタ以外で充電中での操作

お知らせ

- タッチペンで ⮌、⌂、▭、☰ を押すことはできません。

タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に2度続けて軽く触れる
- 1秒以上タッチ：画面に長く触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面をタッチしたままなぞって指を離す
- ピンチアウト：2本の指で画面をタッチし、タッチしたまま指の間を広げる
- ピンチイン：2本の指を開いて画面をタッチし、タッチしたままつまむようにに指を近づける

画面をスクロールする

画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。

- ドラッグすると画面がスクロールします。

- スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中にタッチすると、スクロールが停止します。

表示を拡大／縮小する

使用するアプリケーションによっては、画面の文字が小さくて見にくいとき、表示を拡大することができます。また、拡大した状態から全体表示とするため縮小することもできます。

- ピンチアウトすると指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。

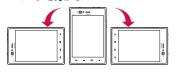
- ピンチインすると指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。

画面の表示方向を変更する

本端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わります。

- 表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「表示」

2「縦横表示の自動回転」にチェックマークを付ける

スクリーンショットを撮る

表示している画面をスクリーンショットとして保存できます。

1 電源キーと音量キー（下）を同時に1秒以上押し続ける

- 撮影したスクリーンショットは、「ギャラリー」の「Captured Images」で見ることができます。

ワンタッチメモを利用する

メモやノートブックアプリケーションを起動せずに、ワンタッチメモボタンを押すだけで、簡単にメモができます。

1 メモを作成したい画面で、ワンタッチメモボタンを押す

- 画面に以下の情報が表示されます。

	：背景を変更します。
／	：元に戻す／やり直します。
	：ペンの種類やカラーを選択できます。
	：消しゴムを利用できます。
	：Bluetooth機能やGmail、Picasaなどで作成したメモを送信できます。
	：作成したメモを保存します。
	：ツールバーを表示／非表示します。
	：画面サイズを調整します。
	：フロントキー（／／／）をロックします。

2 をタップする ▶ 保存先を選択する

- 作成したメモがノートブックまたはギャラリーに保存されます。

お知らせ

- 指で軽く触れて操作してください。付属のタッチペン L01以外の市販のタッチペンを使用した場合、動作しない場合があります。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

本端末の電源を初めて入れたときは、本端末で使用する言語などの設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。

1 電源キーを１秒以上押し続ける

2 「ガイドに従って設定を始めましょう」の画面で「次へ」

- 「日本語（日本）」をタップすると、言語を変更できます。

3 「インターネット接続設定」画面で「モバイルネットワーク」／「Wi-Fi」のチェックマークを付ける／外す ▶「次へ」

- 「Wi-Fi」を選択した場合は、Wi-Fi ネットワークの各項目を設定します。

4 「Googleを利用する」画面で「ログイン」／「アカウントを作成」／「今は設定しない」▶「ありがとうございます」画面まで画面に従って設定する ▶「完了」

5 「ソフトウェア更新」画面で「OK」

6 「ドコモサービスの初期設定」画面で「進む」

7 「アプリ一括インストール」画面で「インストールする」／「インストールしない」▶「進む」

8「おサイフケータイの利用」画面で「設定する」／「設定しない」▶「進む」

9「ドコモアプリパスワードの設定」画面で「設定する」▶ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶新しいドコモアプリパスワードを入力▶「OK」▶再度新しいドコモアプリパスワードを入力▶「OK」

10「位置提供設定」画面で「位置提供ON」／「位置提供OFF」／「電話帳登録外拒否」▶「進む」

11「プリインアプリ利用状況送信」画面で「利用状況を送信する」／「利用状況を送信しない」▶「進む」

12「設定完了」画面で「OK」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、削除や変更はできません。お客様の必要に応じて、アクセスポイントを追加、編集することができます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する＜新しいAPN＞

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で ≡ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ≡ ▶「APNの追加」

3「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」

4「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

6 ≡ ▶「保存」

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で ≡ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ≡ ▶「初期設定に戻す」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。
mopera Uにお申込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1. ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. 「mopera U」または「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Wi-Fiを設定する

本端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「Wi-Fi」

2「Wi-Fi」をONにする

3 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワークに接続中は、Wi-Fiネットワークが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

USBテザリングを有効にする

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続すると、本端末をモデムとして利用し、パソコンをインターネットに接続させることができます。

1 **本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続する**

- 「USB接続の種類」画面が表示されます。

2 **「USBテザリング」**

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。
- 「USB接続の種類」画面が表示されない場合、ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「接続」▶「USB接続の種類」▶「USBテザリング」▶「OK」をタップしても、USBテザリングを有効にすることができます。

お知らせ

- USBテザリングを行う際、必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7/Windows Vista/Windows XP（Service Pack 3 以降）

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

Wi-Fiテザリングを有効にする

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「その他...」▶「テザリング」

2 「Wi-Fiテザリング」

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

ホーム画面

ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。
ホーム画面には、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が計7画面用意されています。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

❶ **Google検索欄**
本端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。

❷ **ウィジェット**
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

❸ **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
メール受信や着信などの情報をお知らせします。

❹ **ホーム画面のショートカット**
タップして、アプリケーションを起動します。
- 位置表示バー下部のショートカットは、ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- 「アプリ」以外のアイコンは、アプリケーション画面（P74）のアイコンを配置できます。

❺ ＋
ホーム画面のカスタマイズ画面が開きます。

❻ **位置表示バー**
現在のホーム画面の位置が表示されます。

ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面を自分好みにカスタマイズできます。

1 ホーム画面を1秒以上タッチする
- ホーム画面のカスタマイズ画面が表示されます。画面上部を「ホーム枠」と呼びます。
- ホーム画面で「＋」をタップしても同様の操作ができます。

2 下部のタブでいずれかを選択する

アプリ	アプリケーション一覧から、ショートカットを作成できます。
ダウンロード	アンインストールできるプリインストールアプリケーションと自分でダウンロードしたアプリケーションの一覧から、ショートカットを作成できます。
ウィジェット	ウィジェットを配置できます。
壁紙	ホーム画面の壁紙を選びます。

ショートカットの作成

1 ホーム画面を1秒以上タッチする

2 「アプリ」または「ダウンロード」をタップする

3 上部のホーム枠を左右にドラッグして、追加先のホーム画面を表示する

4 追加する項目を上部のホーム枠にドラッグし、移動先で指を離す

- ホーム画面に、ショートカットのアイコンが追加されます。
- ホーム枠をタップすると、ホーム画面に戻ります。

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面で、移動するアイコンを1秒以上タッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- アイコンが移動できます。

お知らせ

- 右または左の画面の端にドラッグすると、別のホーム画面の領域に移動することもできます。

ショートカットなどのホーム画面からの削除

1 ホーム画面で、ショートカットアイコン、またはウィジェットを1秒以上タッチする

2 そのまま にドラッグして指を離す

- ホーム画面から削除されます。

アイコンのカスタマイズ

ホーム画面で使用するショートカットのアイコンを自分好みにカスタマイズできます。

標準ホームアプリのアイコンを変更する

1 ショートカットのアイコンを１秒以上タッチする

- アイコンの右上に が表示されます。

2 もう一度ショートカットのアイコンをタップする

- アイコン選択画面が表示されます。

3 画面左上のプルダウンメニューをタップして、「Optimus」／「Biz」／「Cozywall」／「Marshmallow」のいずれかを選択する

4 お好みのアイコンをタップする

写真アイコンに変更する

カメラやギャラリーの写真をホーム画面のアイコンとして設定することもできます。

1 ショートカットのアイコンを１秒以上タッチする

- アイコンの右上に が表示されます。

2 もう一度ショートカットのアイコンをタップする

- アイコン選択画面が表示されます。

3 「写真アイコンの生成」▶「写真を撮影」／「ギャラリーから選択」のいずれかを選択する

- カメラまたはギャラリーが起動します。

4 カメラで写真を撮影して保存する／ギャラリーで設定したい画像を選択する ▶ サイズを調整する ▶「OK」

お知らせ

- docomo Palette UIをご利用の場合はアイコンをカスタマイズできません。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

- ステータスアイコンおよび通知アイコンについて、詳しくは本端末の「取扱説明書」アプリをご参照ください。

主なステータスアイコン

アイコン	説明
	電波レベル
	圏外
（白色）	Bluetooth機能ON
（水色）	Bluetoothデバイスに接続中
	電池残量
	充電中
	Wi-Fi接続中
	本端末のメモリの空き容量低下
	アラーム設定中

主な通知アイコン

アイコン	説明
	新着Gmailあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	カレンダーに設定された予定あり
	不在着信あり
	USB接続中
	スロー充電中
DIRECT	Wi-Fi Direct使用中

お知らせ

- [icon] は、内部ストレージの容量が不足している場合に表示されます。
  [icon] が表示されているときは、アプリケーションをダウンロードしてもインストールが出来ない場合があります。
  空き容量を確保してから再度アプリケーションのインストールを行ってください。

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部にはアイコンが表示され、ONの状態では青、OFFの状態では白で表示されます。
- 通知パネル上部のアイコンの種類や数は、「編集」をタップして表示される「クイック設定」画面で変更できます。

通知パネルの見かた

❶ アイコン

左右にドラッグすると、表示されていないアイコンを表示できます。

- Wi-Fi：Wi-Fi機能のON／OFFを切り替えます。1秒以上タッチすると、「Wi-Fi」画面が表示されます。
- Bluetooth：Bluetooth機能のON／OFFを切り替えます。1秒以上タッチすると、「Bluetooth」画面が表示されます。
- GPS：GPS機能の有効／無効を切り替えます。1秒以上タッチすると、「位置情報サービス」画面が表示されます。
- 明るさ：画面の明るさを3段階で調整します。1秒以上タッチすると、「表示」画面が表示されます。
- 同期：アカウントと同期機能のON／OFFを切り替えます。1秒以上タッチすると、「アカウントと同期」画面が表示されます。
- 編集：「クイック設定」画面が表示されます。

❷ **日付**
日付を表示します。

❸ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❹ **通信事業者名／SIM事業者名**
上には、現在接続中のネットワークの通信事業者名が表示され、下には、SIMカードから読み取った事業者名が表示されます。

❺ **スクロールバー**
上方向にスクロールすると通知パネルを閉じます。

❻ **通知を消去**
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

❼ **設定ボタン**
設定メニューが表示されます。

アプリケーション画面

1 ホーム画面で「アプリ」

アプリケーション画面が表示されます。

1. **「アプリ」タブ**
   アプリケーションの一覧が表示されます。
2. **「ダウンロード」タブ**
   アンインストールできるプリインストールアプリケーションと自分でダウンロードしたアプリケーションの一覧から、ショートカットを作成できます。
3. **「ウィジェット」タブ**
   ホーム画面に追加可能なウィジェットの一覧が表示されます。
4. **設定ボタン**
   「アプリ」／「ダウンロード」タブでタップすると、アプリケーションの移動やアンインストール、詳細情報の確認などができます。
   - アイコンの右上に ⊗ が付いていないアプリケーションは削除できません。
   - 「ウィジェット」タブでは、利用できません。
5. **アプリケーション／ウィジェットの一覧**
6. **位置表示バー**
   現在画面の位置が表示されます。

文字入力

本端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。本端末では、10キーキーボード、QWERTYキーボード、mazec-T手書き変換の3種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。
キーアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

■ 10キーキーボード

一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。

■ QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。

❶ **逆順／戻すキー**
1つ前の文字を表示（逆順）します。
「戻す」と表示されているときは、1つ前の操作を取り消します。

❷ **左カーソルキー／十字キー**
左へカーソルを移動します。変換時は変換範囲を狭めます。1秒以上タッチすると十字キーモードに切り替わります。

❸ **記号／英数カナキー**
絵文字／記号／顔文字リストを表示します。「英数カナ」と表示されているときは、英数字またはカナの候補を表示します。

❹ **文字種切替／設定キー**
入力（文字種）を切り替えます。
1秒以上タッチすることで「LGキーボードメニュー」を表示します。

❺ **絵文字クイック**
絵文字／記号を素早く入力します。
> をタップすると、絵文字クイックをソフトウェアキーボードの幅いっぱいに表示できます。

❻ **削除キー**
カーソル位置の左の文字を削除します。1秒以上タッチすることで連続して削除できます。

❼ **右カーソルキー**
右へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。

❽ **入力パネル変更／変換キー**
「入力パネル変更」メニューを表示します。変換時は連文節変換を行います。

❾ **確定／実行／改行／検索キー**
入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（実行・改行・検索）を実行します。

❿ **シフトキー**
大文字キーと小文字キーを切り替えます。
1回タップ：文頭だけ大文字
2回タップ：全部大文字
3回タップ：小文字

お知らせ

- ここではLGキーボードのソフトウェアキーボードについて説明しています。キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- キーボードが不要な場合は、⮐ をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。
- ソフトウェアキーボードの種類や入力モード、入力方法などを切り替えるには、ソフトウェアキーボードが表示されている状態で 文字 を1秒以上タッチ▶「入力パネル変更」／「入力モード切替」／「入力方法変更」▶ 使用したいキーボードの種類または入力モード、入力方法をタップしてください。

ロック／セキュリティ

各種暗証番号やロック機能の詳細については、「取扱説明書」アプリをご覧ください。

ドコモminiUIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「セキュリティ」
2 「UIMカードのロック設定」
3 「UIMカードのロック」
4 PINコードを入力して「OK」
 - 「UIMカードのロック」にチェックマークが付きます。

フォルダやファイルの操作

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブルで接続すると、本端末の内部ストレージが「L-06D」の「内部ストレージ」という名前で認識されます。
本端末のカメラで撮影した静止画や動画を保存したときや、インターネットから画像・音楽などのデータをダウンロードしたとき、「SDカードバックアップ」アプリを使用して電話帳・spモードメールなどをバックアップしたときなど、そのファイルに対応したフォルダが本端末内の「内部ストレージ」に自動的に作成されます。ドラッグ＆ドロップでパソコンと本端末でデータをやりとりできます。

- パソコンとデータをやりとりする方法や「SDカードバックアップ」の詳細については、本端末の「取扱説明書」アプリをご参照ください。

電話／メール／ウェブブラウザ

電話

電話をかける

本端末では、一般的な通話のほか国際電話、緊急電話をかけることもできます。

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」

2 電話番号を入力 ▶ [発信ボタン]

- 電話番号の入力を誤った場合は、[削除ボタン]をタップすることで消去できます。

3 通話が終了したら「終了」

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。

お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
位置情報を通知した場合には、待ち受け画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面およびPINロック解除コード入力画面からは緊急通報110番／119番／118番に発信できません。

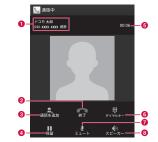
電話を受ける

着信すると着信音が鳴ります。サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定すると、着信音は鳴りません。バイブレートを設定していれば、バイブレートが動作します。

1 電話がかかってきたら「操作開始」▶「通話」をタップ

- 通話できます。

通話中の操作

通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのON／OFF、保留などの操作ができます。

❶ 名前や電話番号
❷ 通話を終了
❸ 別の相手に電話をかける※1
❹ 通話を一時保留※1※2
❺ 通話時間
❻ ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示
プッシュ信号（DTMF トーン）を送信します。
❼ マイクをOFF（消音）※2
自分の声が相手に聞こえないようにします。
❽ スピーカーフォンをON※2
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

※1 キャッチホンのご契約が必要です。
※2 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。

発着信履歴

着信や発信の履歴は自動的に記録されます。また、この履歴を利用して電話をかけたり、電話帳に電話番号を登録することもできます。

1 ホーム画面で「電話」▶「発着信リスト」

❶ **着信履歴**
着信履歴のみ表示します。

❷ **同じ相手との連続発着信履歴**
同じ相手と連続して発着信している場合 ▶ が表示されます。
- 括弧内の数字は履歴件数です。
- 相手をタップすると履歴の詳細確認、もう一度タップすると元にもどります。

❸ **発信ステータスアイコン**
：声の宅配便
：発信者番号通知なし※
：発信者番号通知あり※

❹ **名前や電話番号**
タップしてアクションリストを表示します。
- アクションリストの項目をタップして、電話発信、SMS送信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。
- 1秒以上タッチすると、履歴を削除したり、電話番号を編集して発信したりできます。

❺ **発信履歴**
発信履歴のみ表示します。

❻ **発信アイコン**
タップして電話を発信します。

❼ **履歴アイコン**
：発信履歴
：着信履歴
：不在着信履歴

❽ **電話帳**
タップして電話帳を表示します。

※ 発信時、電話番号の前に「186」／「184」を付加した場合、またはダイヤル画面で電話番号を入力して ☰ ▶「発信者番号通知」▶「通知する」／「通知しない」で番号通知／番号非通知を設定した場合に表示されます。

電話帳

電話帳には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど電話帳に関わる情報が入力できます。

1 ホーム画面で「電話帳」

❶ **「連絡先」タブ**
連絡先一覧画面を表示します。

❷ **連絡先一覧**
画像を選択して表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成したり、インターネット上の各種サービスを利用したりすることができます。

❸ **グループ**
選択したグループに所属する連絡先を表示します。

❹ **登録**
連絡先を新規登録します。
- 複数のアカウントを登録している場合は、連絡先を作成するアカウントを選択してから、必要な項目を入力します。

❺ **「コミュニケーション」タブ**
通話履歴を表示します。また、spモードメールやSMSの送受信内訳情報、SNSのメッセージを確認することができます。

❻ 「タイムライン」タブ
SNS連携機能で設定したSNS・ブログのタイムラインが表示されます。
タップすることで詳細画面が表示され、コメントやいいね！の投稿をすることができます。

❼ 「マイプロフィール」タブ
ご利用の電話番号を確認したり、お客様ご自身でプロフィール情報を登録、編集、削除したりできます。また、名刺作成アプリで作成した名刺データを表示し、ネットワーク経由で交換することができます。

❽ インデックス一覧
画面右下の「インデックス」をタップすると表示されます。

❾ インデックス
連絡先を頭出しします。

❿ 検索
キーワードを入力して、連絡先を検索します。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

メールアカウントを設定する

あらかじめ、ご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」
2 「メールプロバイダーの選択」画面でメールプロバイダーを選択する
3 メールアカウントの設定画面でメールアドレスとパスワードを入力する
4 「手動」または「次へ」
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

受信したメールを表示する

1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で
2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する
3 「件名」ボックスに件名を入力する
4 本文欄にメッセージを入力する
5

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Gmail」

- Gmailの詳細については、Gmailの「受信トレイ」画面で ☰ ▶「ヘルプ」をご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていないときや圏外時など、本端末の状態によっては、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り、エリアメールの本文がポップアップで表示されます。

- 画面ロックが設定されている場合、エリアメールの本文は表示されません。画面ロックを解除すると表示されます。
- 着信音量を変更することはできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）設定中でも、警告音が鳴ります。鳴らないように設定できます（P88）。

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

2 いずれかのエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、着信時の動作などを設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

2 ☰ ▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

項目	説明
受信設定	チェックマークを付けるとエリアメールを受信します。
着信音	着信音の鳴動時間とマナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）設定中の動作を設定します。

受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信時の動作を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外のエリアメールを受信するために、受信したいエリアメール名とMessage IDを登録できます。

ブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「インターネット」

❶ **検索ボックス**
検索する文字やURLを入力すると、ウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。
リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して「実行」をタップすると、ウェブページが表示されます。
ブラウザに検索ボックスが表示されていない場合は、ウェブページを下にドラッグすると表示されます。

❷ **ウィンドウ切り替え**
複数のウィンドウでウェブページにアクセスしている場合は、選択したウィンドウに切り替えることができます。⊠ をタップすると、ウィンドウを閉じることができます。

❸ **前のウェブページ**
前のウェブページを表示します。

❹ **次のウェブページ**
次のウェブページを表示します。

❺ **ズーム**
タッチしながら本端末を手前に傾けると、ウェブページの表示を拡大します。後ろに傾けると、縮小します。

❻ **新しいウィンドウ**
新しいウィンドウが開き、ホームページが表示されます。

❼ **ブックマークボタン**
「ブックマーク」タブを表示します。

システム設定

設定メニュー

本端末では、ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。ここで表示されるメニューは以下の通りです。

■ 無線とネットワーク

項目	説明
Wi-Fi	Wi-Fi 機能をON ／ OFF にします。 Wi-Fi 機能を使用するための各種設定を行います。
Bluetooth	Bluetooth 機能をON ／ OFF にします。 Bluetooth 機能を使用するための各種設定を行います。
データ使用	モバイルデータ通信を利用するかどうか、モバイルデータ通信の制限設定、データ使用サイクルのグラフと使用されたサービスの内訳を表示します。
通話設定	各種通話に関する設定を行います。

項目		説明
その他…	機内モード	電波を発する機能を有効／無効にします。
	Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct対応機器と、アクセスポイントを経由せずに直接接続します。
	テザリング	ポータブルWi-Fiアクセスポイントの設定を行います。
	VPN	VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定を行います。
	モバイルネットワーク	アクセスポイントの設定やデータローミング、ネットワークモードの設定を行います。

■ デバイス

項目	説明
サウンド	音量などの設定を行います。
表示	画面の明るさなど表示に関する設定を行います。
ホームスクリーン	ホーム画面に関する設定を行います。 テーマ、アニメーション表示、スクリーン効果、壁紙、スクロール壁紙、エンドレスモード、設定のバックアップとリストアについて設定できます。

項目	説明
画面のロック	画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。
ジェスチャー	モーションジェスチャーに関する設定を行います。
ストレージ	内部ストレージの空き容量表示などを行います。
パワーセーブ	バッテリー残量が少ないときに、OFFにする機能の設定を行います。
アプリ	アプリケーションに関する設定を行います。

■ パーソナル

項目	説明
ドコモサービス	アプリケーション管理やドコモアプリパスワード、オートGPSの設定などを行います。
アカウントと同期	アカウントおよび同期に関する設定を行います。
位置情報サービス	GPS機能を使用するかなどを設定します。
セキュリティ	パスワードの設定などを行います。

項目	説明
言語と入力	本端末の使用言語やキーボードの設定を行います。音声認識の設定やテキストの読み上げに関する設定を行います。
バックアップとリセット	アプリケーションや各種設定をGoogleサーバーでバックアップするかどうかなどの設定を行います。また、本端末内のすべてのデータを消去します。

■ システム

項目	説明
日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。
ユーザー補助	ユーザー補助に関するアプリケーションの設定などを行います。
接続	USB接続モードやOn-Screen Phone機能の設定を行います。
開発者向けオプション	アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。
端末情報	本端末に関する各種情報を表示します。

付録

試供品

- 試供品は無料修理保証の対象外です。
- 試供品の仕様および概観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

ドコモminiUIMカード挿抜ツール

■主な仕様

外形寸法	縦：約33.0mm（ピン部分含む） 横：約12.5mm 厚さ：約6.2mm
質量	約2.5g

■材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
表面	ブラックレジン射出 KPA-1
ピン	STS304（プレス加工）
穴のキャップ	PCシート

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新 → P109）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症　状	チェック
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。→ P51

■ 充電

症　状	チェック
充電ができない	• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。

症　状	チェック
充電ができない	• ACアダプタを使用する場合、microUSB接続ケーブルが、本端末またはACアダプタとしっかりと接続されていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
画面に「充電してください」と表示される	• 電池残量が少ない場合は充電してください。→P51

■ 端末操作

症　状	チェック
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影やワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。

症　状	チェック
電池の使用時間が短い	• 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
キーを押しても動作しない	• 画面ロックを設定していませんか。→ P53
ドコモmini UIMカードが認識しない	• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P46

症　状	チェック
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「システム設定」の「日付と時刻」で「日付と時刻の自動設定」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。

症　状	チェック
端末動作が不安定	• セーフモードの起動方法 1.電源OFFの状態から電源キーを押します。 2.LGロゴが表示されたら、音量キー（下）を押し続けます。成功すると約5秒後にバイブレートが振動します。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	• お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。

■ 通話

症　状	チェック
を タップしても発信できない	• 機内モードを設定していませんか。→ P92
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、ドコモminiUIMカードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況を示す電波レベルが4本表示している 」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。

症　状	チェック
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ カメラ

症　状	チェック
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ おサイフケータイ

症　状	チェック
おサイフケータイが使えない	• おサイフケータイ ロック設定を設定していませんか。 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
・サービスは無効になっています ・ドコモUIMカードが挿入されていません	・サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 ・ドコモminiUIMカードが正しく機能していません。ドコモminiUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
PIN1がロックされましたPINロック解除コードを入力してください	・PUK（PINロック解除コード）を正しく入力してください。
メモリがいっぱいです	・空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除して容量を確保してください。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）へ電話する

2「遠隔サポート」をタップする

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力する

4 接続後、遠隔サポートを開始する

端末初期化

本端末内のすべてのデータを消去します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「バックアップとリセット」

2 「データの初期化」▶「携帯電話のリセット」▶「実行する」▶「OK」

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶･コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子やイヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- 本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
 使用箇所：スピーカー、マイク部
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

本端末は標準の「ソフトウェア更新」と「LGソフトウェア更新」の二つのソフトウェア更新方法があります。

- 「ソフトウェア更新」：搭載されているアプリケーションの更新に使う機能で、3G接続とW-Fi接続の両方で実行できます。
  ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
- 「LGソフトウェア更新」：OSバージョンアップ時に使う機能で、Wi-Fi接続のみで実行できます。
  最新のソフトウェアの状況については、LG Electronicsホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

標準のソフトウェア更新

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」

LGソフトウェア更新

1 ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「LGソフトウェア更新」

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種L-06Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W／kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.249 W／kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属部分が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Electronicsホームページ（本端末の「仕様」のページをご確認ください）
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp

（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のＳＡＲの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.

Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.46 W/kg, and when worn on the body is 0.64 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID ZNFL06D.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Wi-Fi Caution	This device is capable of operating in 802.11a/n mode. For 802.11a/n devices operating in the frequency range of 5.15 - 5.25 GHz, they are restricted for indoor operations to reduce any potential harmful interference for Mobile Satellite Services (MSS) in the US. WIFI Access Points that are capable of allowing your device to operate in 802.11a/n mode(5.15 - 5.25 GHz band) are optimized for indoor use only. If your WIFI network is capable of operating in this mode, please restrict your WIFI use indoors to not violate federal regulations to protect Mobile Satellite Services.

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。

ホーム画面で ☰ ▶「システム設定」▶「端末情報」▶「認証」

Declaration of Conformity

The product "L-06D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.405 W/kg at the ear, and 0.362 W/kg when worn on the body.
To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 1.5 cm must be maintained from the user's body.

While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi (WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. It can be operated in all European countries. The WLAN can be operated in the EU without restriction indoors, but cannot be operated outdoors in France, Russia and Ukraine.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE: Excessive sound pressure from earphones can cause hearing loss.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「spモード」「spモードメール」「エリアメール」「公共モード」「デコメール®」「mopera」「mopera U」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「ケータイデータお預かりサービス」「声の宅配便」「オートGPS」「dメニュー」「dマーケット」「Xi」「Xi／クロッシィ」および「おサイフケータイ」ロゴ、「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- LG On-Screen PhoneはLG Electronics Inc.の日本における登録商標です。

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth®

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、PlayストアおよびPlayストア ロゴ、Googleマップ、Google トーク、Googleカレンダー、Google+およびGoogle+ロゴ、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player 、Adobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載しています。

  - Adobe Flash Player Copyright© 1996-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2012 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから dメニュー ▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」(パケット通信料無料)
パソコンから My docomo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き
※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ バイブレートのみ、サイレント

操作音・着信音など本端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

■ バイブレート

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ 公共モード（電源OFF）

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、ＰＨＳ、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。
不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-06Dからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-06Dからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」を1秒以上タッチします）。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■LGモバイルお客様ご相談センター

0120-011-167

午前9:00～午後6:00（土・日・祝日・年末年始を除く）

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

● 試供品については、本書内でご確認ください。

再生紙を使用しています　Printed in Korea(H)

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

'12.7 (2版)
MFL67605301